

DIRECCION:
 USPALLATA 981
 U. T. 28-7051, B. O.

CORREO ARGENTINO
 FRANQUEO PAGADO
 TARIFA REDUCIDA
 CONCESION 718

大阪商船會社指定
三等乗船切符仲次所
 大阪商船會社船客御送迎に就
 ては懇切迅速に御便宜を御取計
 申可候間、御遠慮なく下記へ
 御用命賜度候

船泊用商
森川塩澤商店
 PASSEO COLON 470
 U. T. 33-4171
 U. T. 33-4808

OSAKA SHOSEN KAISHA
 Av. 2º PISO
 U. T. 33, AVENIDA 1051 - 1052 - 1053 - 3565
 COOPERATIVA CENTRAL 2047
 BUENOS AIRES

●北米パナマ線由日本行「一年十四回」換算
 ●アフリカ線由日本行「毎月一回」門司まで
 ●北米パナマ線由日本行「一年十四回」換算
 ●アフリカ線由日本行「毎月一回」門司まで

●小兒運賃 旅券記載生年月に依り満十二歳未満「半額」、満七才未満「四分
 ノ一」満三才未満無賃、満四才以上亞細亞生れの方は「亞細亞旅券」必要
 ●乗船支拂 日本行運賃は全部米貨貨建です。一等は乗船切符買求め當日の
 換算率、三等は本船入港當日の換算率（何れも自由市場率）に依り亞貨にて
 拂ひ願ひます。一等は定額運賃一割の出國税が掛ります。（二等は無税）
 ●歸國御手續 旅券面に日本領事の査証が要ります。三等客は乗船前乗船後
 の健康診断を受け下す。切符は本船入港當日から出帆前日迄發賣
 ●日本より御呼寄の便法當地にて乗船支拂あれば乗船券引換証書上さ
 す。但し移民局發給入國許可証及日本領事館發給呼寄証明書持参下さい
 ●鐵道省乗車券發行 日本第一港から本船切符の上陸港迄鐵道省汽車乗換
 の適合船便の代りに乗車券贈呈
 ●弊社内航線切符發行 弊社内航線寄港地を目的とする、場合等内航線切
 符贈呈（但し沖繩ハ參等五割引）

船種	等級	米貨	洋貨	雜貨
日本行	一等	四五〇	三三〇	二七〇
	二等	四〇九	二八〇	二二〇
日本より	一等	四五〇	三三〇	二七〇
	二等	四〇九	二八〇	二二〇



亞中然丁時報

DIARIO JAPONES
 Director: T. MIDZUNO
 Redacción: USPALLATA 981
 U. T. 23, Buen Orden 7051
 BUENOS AIRES

TARIFA DE SUBSCRIPCION
 Un mes \$ 2.-
 Tres meses " 6.-
 Seis meses " 12.-
 Un año " 24.-

YAMASHITA LINE

FAR EAST-NEW YORK-SOUTH AMERICA SERVICE
 AGENT
CHADWICK, WEIR & Cía.
 25 DE MAYO 516 U. T. 31-0026-29

"K" LINE

KAWASAKI KISEN KAISHA Ltd.
 KOBE, JAPAN
 Representantes
J. E. TURNER & Co. S. A.
 RECONQUISTA 325 U. T. 31-3491-3

キリスト教青年ホーム
 ペンション 定期又は一時的
 聖書の研究 毎土曜日午後八
 郵便物取次 時より御来会自由
 来仕致します
守屋保吉
 C seros 1983
 U. T. 23-9872

Semillería EL COLONO
 ABONOS :: HORMIGUCIDAS :: INSECTICIDAS
 IMPLEMENTOS AGRICOLAS
 SEMILLAS Y PLANTAS
J. S. GAGO
 IMPORTACION DE SEMILLAS
 EN GENERAL
 HERRAMIENTAS PARA JARDINES
 GENERAL HORNOS 58
 U. T. 23 BUEN ORDEN 7101
 BUENOS AIRES
 PIDA CATALOGO GENERAL

川崎汽船西廻世界一周航路
 横濱比律賓海峽植民地印度及紅海沿岸諸
 港又支運河經由加奈隆北米伯利西爾亞爾爾丁
 亞爾爾丁伯利西爾巴奈馬運河經由大平洋
 岸諸港 橫濱

優秀船八隻就航
 日本向け貨物迅速丁寧に取扱ひ致します
川崎汽船株式會社

TALLER
MECANICO

de G. GONZALEZ

プラシチヤ機
カルデーの
修繕其他

SAN JOSE 220

U. T. 38 - 5923

時計修繕
電話で御一報次第参上致します
市内カビルド街一七七八
電話(五二)〇九三三
守屋利夫

CABILDO 1178

U. T. 52-0933

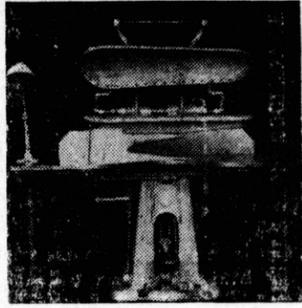
齊藤染色工場

設備完全
仕事入念

邦人間唯一の
染色工場

BELGRANO 3061

U. T. 45 - LORIA 5442



Av. La Plata 1416

U. T. 60 - 9421

最新
TBP
カルデーセント
リノガ・クエデヨ
のプラシチヤ機
製造販賣修繕
高橋秀雄

自宅出張撮影
複写引伸し
写真師 佐藤貞則
智恵の爲にも御引受け致す

SALTA 158
U. T. 37-3704

TOYOKEN

25 DE MAYO 356

U. T. 31 - 0739

東洋軒
料理部
純日本料理
折詰弁当
丼物一切種類
晝食
配達致し
相変らず
市引立を

Masajista Japonés

SEGUROLA 1992-6
U. T. 67-4591

日本式マツサージ鍼灸
リウマチ、神経痛、呼吸器病
胃腸病その他一切の疾患、幼
日本書院は西坂商店で
取扱ってあります
山田忠重

GRAN PREMIO EXPOSICION DE LA
INDUSTRIA ARGENTINA 1963-64

BILLARES BRUNSWICK
BANDAS MONARCH
ULTIMA NOVEDAD "SNOOKER"

Solicite informes



Cía. Brunswick Sudamericana S. A.

1894 - CANGALLO - 1900
U. T. 47, Cuyo 3577 - Buenos Aires

MATSUYA HOTEL

TAGUARI 580
U. T. 34 - 1344

親切丁寧
顧客本意
浴室完備
まつや旅館
料理係、井物一
日本菓子製造致す
の会食に應じます

だるま亭
▲井物一品料理仕出し
すし、そば、饅頭、煮出し
御膳、御誕生の祝儀
御注大に應じます
松田清市

BOLIVAR 1556
U. T. 23 - 4092

"PLATA BRAUN" MARCA REGISTRADA



カフェエパー
レストラント用の
メタル製品の
御用命は日本人間
に絶大の信用ある
ブラウナーへ
月賦の御注文に
應じます

BERNARDO BRAUN e HIJO

CORRIENTES 4349 U. T. 54, Darwin 4111

A L M A C E N

NISHISAKA

AUSTRALIA 1101
U. T. 21-2915

醤油味噌 製法造販賣
洋香粉 製法造販賣
日本食料品輸入販賣
値段勉強配達迅速
西阪實太商店

Ernesto Coco

15 DE NOVIEMBRE 2335

U. T. 23 - 2835

ケロセン廉賣
永年日本人洗濯店
並に御家庭の
御最良を蒙つて居ります

領事館銀行、毎本社に近く
御乗船御下船の便
御下宿
御旅館
地方より出武の御便は是非御参上致す
昭和館

25 DE MAYO 330

U. T. 31 - 5145
BUENOS AIRES

"KEROGAS"

Ing. F. STUCKLER

U. T. 51-3252 PACHECO 3260

最新型ケマドールレス及
タンクレスフレッシュ
製作販賣
諸種ケマドール修繕・部分品
販賣・日本人間に多数顧客
在りし仕事は入念迅速・電話
で御一報次第至急参上致します

TALLER GRAFICO

NIPPON

SANTIAGO DEL ESTERO 975

U. T. 23 - 7864

刷印版活文西
堂ンポツニ
種各化其、新名商標等便
寸寸上款命用御拍平の少多
北川

米政府パナマ運河改修に決定 遂にニカラガ運河開鑿を断念

(華府六日) ニカラガの報道によれば米政府は二億五千万の予算を以てパナマ運河の改修を決定した。

(華府六日) ニカラガ海軍部長は米海軍部会通が確定され米海軍の四万二千トンの主力艦の新造艦が予想される折柄ニカラガ海軍部が六日探知した情報によれば米政府はニカラガ運河開鑿を断念し、二億五千万の予算を以てパナマ運河の改修を決定した。米海軍部は、即ち米海軍省並に商務省並に海軍委員に、

会と協議を遂げた結果この程秘密裡に下院海軍委員会に対し報告書を出し予算総額二億五千万を以てパナマ運河を拡張するやうな案を提出した。如く右報告書の内容を以て伝へられる所は、

工部局警察行政機構改革

我方即時実行方を督促

日高総領事より覚書を送

(上海六日) 日高総領事は六日共同租界市参事会議長フランクリンを訪問、是は同本前総領事より提出した工部局警察行政機構改革についての要求に關する工部局の回答に對し、その即時実行方を督促する。其の日本側の最低限度の要求並に希望を述べた覚書を手交した。同覚書によれば日本側の要求は現在の案と異なる時局が緩和され且つ工部局の財政の許す時機に於ては全面的實現を求め、現在の工部局警察の一般行政は千六百

覚書要旨

一 日本人を特別副總監に任命すべし、その地位は警視總監に次ぐべきものとす。然して日本人官吏に對する任免権及び監督権を保有せしめ且つ日本人の利益を代表して工部局警察の一般行政は千六百

費用は到底その利益に償はせず、現下米側の経済状態に鑑み斯く多額の費用をかけることは賛成出来ぬ。

一 目下の所は天候りパナマ運河を拡張改修することが最も適当な措置である。現在よりも猶ほ大型の船舶を通航せしめ得るやうな新設の港門を新設しその他改修工事を実施することを提議する。

無敵陸の荒鷲に悩みあり

公正な道徳観故に不必要な危険を冒し第三國人の安全を期す

(濟南六日) 全力を挙げて反撃する支那軍と相争つて連日巨つて山東南部、江蘇、河南の上空を活躍する我が陸の荒鷲警軍は、唯一のありかたは、それは各都市外人經營による病院、孤兒院などの建物である。我が空軍では予め外

軍民一如の國防完成

杉山陸相師團長會議で訓示

(東京七日) 杉山陸相は七日の師團長會議に於て特は軍民一如の國防完成を期すると共に予備運當に深甚の注意を払ふべき旨訓示した。

平生最高願向病氣引籠り

やうな有様で眞實判定に却つて困難を増し、曩の濟寧爆撃の際などは独逸のナチス旗の標識以外は殆ど判定出来ぬもの状態である。その上支那軍は殆んど絶てこれらりの建物に附近に集結し、匪人に襲撃するのて軍の正確な爆撃射撃を以てしても絕對の安全は期し難い。

卑怯極まる支那軍

の行 相俟つて空軍射撃はその公正道徳觀の故に不必要な危険を冒すの止むべきに至つてゐる。然し支那側の軍方行動は極度の情狀に陥られつゝも猶ほその道徳觀を失はぬ軍は、更に避難を勧告すると同時に何等の建物も射撃の上空から取り除くべきである。揚揚又は標識がしてあるものかあつても英米等のものは悪辣な支那軍のカムフラージュに悪用されてゐるものが多い。

英靈四千餘柱合祀の靖國神社臨時大祭

(東京七日) 英靈廟の聖戰に花と散つた護國英靈四千餘柱を合祀する靖國神社臨時大祭は来る二十六日、最も大皇陛下の御親拝を奉じ、是れ執行せられるが、これ等殉國の英靈に對し敬虔なる感謝の意を表する方々、天皇家陛下御親拝の時刻午前十時十五分、期し全國民一齊に一分間黙禱すること。七日の次官會議で決議され実行に移されることにはまつた。

リ作戦部長 建艦方針を明示

(華府六日) リ作戦部長は六日の上院海軍委員会に於て左の如き方針を明らかにした。一 米海軍は對英均等、對日優勢を保有すれば戰爭は起るまいと考へる。一 下院を通過したヒンソン案中一万五千トンの航空母艦二隻の増設は二万トンの増加するやうな修正方針を勧告する。一 大西洋艦隊の創設は不可。

排日家として知られた

上大校長射殺さる

(上海七日) 上海海派江大が他の一人名を補導した。長劉道恩は七日午前九時五十分分共同租界西安路、ゴルドン路角で二名の支那人に漢口製

は此等射撃を受け、その場で即死した。附近に在つた警官は直ちに犯人一名を捕縛した。射殺した支那人は、劉道恩の遺體を運走した。尚ほ劉はゴルドン路角で二名の支那人に漢口製

米内海相の車中談

軍需工業視察のため西下

(東京八日) 西下地方の軍需工業視察のため八日西下した米内海相は車中左の如く語つた。

世界建艦競争と帝國海軍

入るや急々本艦はあつて建艦競争は案出して来たが兩國とも世界建艦の責任は負はされ

一日一題

此の骨

「スチム機は人ごとくてもよい男が出たのでいうが寒さ

保と國防の安全を期するに相違ない。これは軍備は相対性

会葬御礼 判事清子儀予て病氣療養中

十八日よし、彼は寸違ふれば我は尺離あり、彼れはバナム

日会役員会構成さる 日会新役員会は去る七日午後

日会婦人部 日会婦人部は去る六日午後三時より委員会を閉る

ラキリアム・ブリン
ソニックベルド商会
代理人
グイセンテ
シリアリエロ

和 優良球根
各種販賣

RIVADAVIA 5871
U. T. 63-5682

日本産敷 建築
文化住宅
家具製造修理其他の御用命を願
大工指物師 山本 玄
Av. del PEJAR 4817
U. T. 741 (Florida) 3150

齒科医療の
御相談に應じます

日本齒科 山本実雄
医学士
應待時間 午前八時~午後十時
市内エントレリオス街九七三
分二階・ロ・二二二・五四二

MEDICINAL
NEWS

28 - Suipacha - 28

。淋病梅毒 治療代は全治後頂きます
。肺結核新療法 月十ペソからの便あり
。婦人科。電氣治療科
。X光線科 (各科専門医十名)
診察料三ペソ 午前九時~十二時
午後三時~八時
。日曜祭日は午前中

SEMILLERIA
Juan Calé & Cia.

CASA MATRIZ
123 - PUEYRREDON - 123
U. T. 47, CUYO 0065 y GUYO 0066
COOP. TEL. 1137, OESTE

Sucursal N.º 1: CORRIENTES 3175
U. T. 82, Mitre 1954-C T. 323, Oeste

Sucursal N.º 2: RIVADAVIA 2425
U. T. 47 Cuyo 8098-C T. 1105, Centr

琉球三味線教授
土曜日午後二時より
初等科
日曜日中等科

安里亀榮
COMPOX 1646
U. T. 24, B. Orden 8434

JUGUETERIA
TORRO
SARMIENTO 540
U. T. 34 - Defensa, 1687

SASTRERIA "TORRO"
SARMIENTO 654
U. T. 35, Libertad 1392

品買本位
仕立入念
八十五ペソ
より各種

トロー
高等
洋服店

この成替切替
毎月の券には
一割引致します

玩具買家必
廉價在庫品豊富の
トロー玩具店で
日本製玩具あり
御申込次第型録進呈

東京 国分鉄藏
医学士
左記に於て齒科医療の
御相談に應じます

ドクトル エリアルド キンタニア 齒科医院
市内エドラス街六九二、四階
デパルタメントM 電話三三二一三三〇

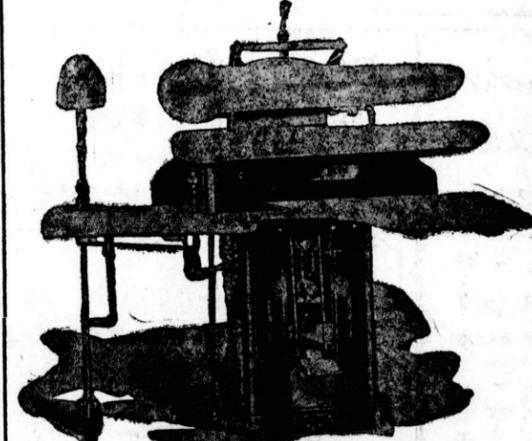
Franz y Fritz
DANCING
348 PARANA 350

一階に新設致しました美しい
冬の花園の御披露致します

夜の部
百名の麗人ダンサー!!
卅名の藝術家登場!!
日本人のモーションがサービズ致します

ワリエテは毎日午後六時半より
小ルンチ附コペティン一ペソ
樂團は有名なカナロのオルケスタ
集めたワリエテを二回開催

式シマフオ舊新
賣安大機ヤチシラフ



SALTA 431
U. T. 38, Mayo 0999

機シマフオ るな飲無全完の古中
すまし致賣販てに拂支件條好安格
(可もてに紙手の文本文日は文註御のりよ方地)

ホフマン式フランチヤ機
並にカルテラの修繕取付
一切廉價に引受けます

木子合社
指定機械師 トリビオゴメス

TELEFONO PARTICULAR 4584
U. T. 23, B. ORDEN 4584

CHACABUCO 896
U. T. 34, DEFENSA 1192

御旅館 双葉
御下宿 双葉
和洋食月極め御座ります
皆様の御愛顧を願ひます

尾崎幸千代
USPALLATA 812
U. T. 23 (B. Orden) 5735

LA EXPANSIÓN JAPONESA

Por ESTEBAN ROLDAN OLIARTE

El señor Esteban Roldán Oliarte, ilustrado escritor hispano, profundo conocedor de la América Latina, muy apreciado en Centro América, que reside en París, ha publicado recientemente un libro titulado "La Expansión Japonesa", que, según manifiesta el mismo autor, son páginas de justicia sobre el Nipón Imperial.

El libro se compone de tres partes, a saber: Antecedentes Históricos, El Nipón por dentro y el Nipón en Asia y en el Mundo. Es un nítido trabajo con ilustraciones bien selectas.

Los títulos ya citados, con el extracto del prólogo que transcribiremos más adelante, se pueden dar una idea del volumen que comentamos, especialmente con estos datos que sacamos de las páginas finales, llamadas "Envío": "Yo fui al Extremo Oriente conducido por el espíritu de vuestro inmortal Okakura Kakuzo quien descubrió a mi mente los ideales del Oriente plenos de pureza, de armonía y de paz, saturados de la divina caridad de mi Cristo Redentor, del sentido social de mis maestros tradicionalistas.

"Y vosotros, Takahiko Wakabayashi, Iwataro Uchiyama, Toshiro Satow, Takeshi Yanagisawa, Eiji Amau, Chikao Fujisawa, Takeshi Furukawa, Mikinosuke Ishida y T. Kodaira, acoged el recuerdo sincero de un español que pasó por vuestra Patria pensando en la suya y que sólo dejó al Nipón por su España".

Con estos nombres con cuya amistad contó el escritor, y con su conocimiento de las cosas del Asia, no puede sino presentar trabajo interesante como meditado, digno de ser leído.

Antes de ofrecer a nuestros lectores algunos capítulos de este libro que nos permitiremos insertar de vez en cuando, en nuestras páginas, publicamos hoy el prólogo del autor, que es la clave de su obra, rindiéndole nuestro homenaje por su mentalidad poco común en el Occidental que lo facultó comprender lo Oriental.

AL QUE LEYERE

De nuevo los periódicos vienen llenos de informaciones japonesas. Pero las noticias ya no tienen el carácter laudatorio y admirativo de los tiempos de las guerras China y Rusia, o los más recientes de su intervención en la mundial al lado de Inglaterra y sus satélites. Desde 1931 —lucha por el Manchukuo— todos los temas japoneses que nos sirve la prensa transpiran una acre censura para la acción que el Imperio del Sol Naciente desarrolla en el Asia. Junto a materiales de primera calidad, menudas referencias y anécdotas sin valor humano. Todo está compuesto a los fines de forzar la opinión internacional.

Un día leemos que en los confines de Costa Rica y Panamá dos sabios disfrazados de campesinos preparan la destrucción del famoso canal yanqui; al siguiente, se nos asegura que en Singapur dos ingenieros vestidos de cargadores estudian los secretos de las fortificaciones que Inglaterra cons-

truye para asegurar la facilidad de sus hindús... los espías nipones aparecen y reaparecen en todos los confines del globo; en México y en Australia, en Pekín y en el Brasil, en el golfo de Fonseca y en la bahía de Hong-Kong, en San Francisco y en Londres, fase de esta propaganda persistente adquiere un carácter funambulesco: el militarismo japonés quiere apoderarse de la China y con la secuencia de sus millones de coolies aniquilar a Rusia e invadir a Europa para acabar con la libertad de los pueblos y la hegemonía de la raza blanca.

Es obvio que esas informaciones, noticias y juicios que a diario leemos, incluso en periódicos de reputación, proceden de fuente interesada. El mismo sentido común nos impulsa a rechazarlas. Pero en estos tiempos de luces, de civilización y de comunicaciones ultrarrápidas las mayorías pasantes y las artiméticas creen todo cuanto se difunde en la letra de molde. Sólo la verdad camina a paso de carreta.

¿Puede admitirse sin examen la existencia de esa vasta conspiración nipona contra la paz del Asia, la seguridad de Europa y el bienestar de las clases proletarias de Occidente?

A nosotros, españoles, que hemos sufrido por siglos los efectos de la calumnia; a vosotros, iberoamericanos, que soportáis por más de un centenio la crítica petulante y estúpida de vuestras instituciones sociales y caudillos representativos, corresponde mayormente no hacer caso a la letra de molde extranjera.

Desde el punto de vista político nada tenemos que ganar o perder en Asia; en lo económico, una reciprocidad comercial ofrece las más halagüeñas perspectivas y desde el altísimo de la convivencia humana, la parte de responsabilidad que nos cabe en la marcha del mundo nos obliga a estudiar y a enterarnos por cuenta propia. Y este conocimiento directo y objetivo, por lo ejemplar del sujeto, quizá contribuya a acelerar el proceso de nuestra emancipación internacional.

La visión del Nipón en su unidad, en su poderío en su expansión y en sus ideales alumbró en mi alma el deslumbrante ensueño del Imperio Iberoamericano que alcanzará realidad el día en que miremos menos a Londres y Nueva York y sepamos alimentarnos de la substancia viva de nuestra alma original e inédita.

Las páginas que siguen, anteriores en su totalidad al actual conflicto en Extremo Oriente, constituyen el resultado de un examen imparcial de la historia de la expansión nipona en el Asia y de su actual panorama político en relación con Occidente. — París, 8 de Diciembre de 1937.

Declaraciones del almirante Suetsugu

Transcribimos a continuación las declaraciones que el almirante Suetsugu hiciera en la Revista Kaizo del mes de enero, antes que fuera nombrado Ministro del Interior, declaraciones que tuvieron el eco conocido. Ahora que muchas de sus manifestaciones van tomando forma en hechos resultan más interesantes aún

La China del Norte necesita un gobierno de carácter particular. No tardará mucho en producirse. Desde luego será de un tipo distinto al del Manchukuo. Ese gobierno tendrá en cuenta las costumbres chinas y asegurará especialmente el bienestar del pueblo. Será, naturalmente un gobierno anticomunista. Un régimen de esa naturaleza ha de repercutir fatalmente en todo el norte chino. Y más tarde los dos gobiernos de Pekín y

de Nankín se fusionarán para integrar el gobierno de toda la China.

El Primer Ministro de Gran Bretaña ha declarado que nosotros queríamos imponer a los chinos un gobierno a nuestro gusto. Esto es sencillamente desconocer nuestras intenciones que no son otras que establecer la paz duradera en Extremo Oriente como nos lo impone el rescripto Imperial. Los intereses mercantiles de los blancos (Inglaterra) deben desaparecer ante la claridad de la misión japonesa. China, Manchukuo y Nipón deben formar un bloque político, ideológico y económico.

Vivimos actualmente ante acontecimientos que tendrán una inmensa repercusión en la historia del mundo. Nadie puede profetizar a qué ritmo se desarrollarán. Pero estoy firmemente convencido de que la raza amarilla disfrutará de la parte de bienestar que el cielo le reserva y que el finiquito de la hegemonía de los blancos inaugurará verdaderamente la Era de justicia y de humanidad de que europeos y yanquis hablan constantemente.

No temo insistir sobre este punto y si es necesario lo repetiré a la faz del mundo entero: El yugo de los blancos sobre las razas amarillas debe desaparecer. Naturalmente una realización rápida de esta emancipación producirá una conflagración general, bien entendido que cualesquiera que sean las precauciones que tomemos el resultado será el mismo: una conflagración mundial, así lo quiere el Destino; pero lo esencial es realizar nuestra misión sin detenernos en consideraciones secundarias.

Para quebrantar la resistencia del gobierno chino es absolutamente indispensable paralizar la ayuda inglesa, incluso a precio de la guerra. ¿Es nuestra culpa? La necesidad impone los medios. ¿Por qué Inglaterra no quiere comprender la vanidad de su apoyo al gobierno chino y que desencadenará la tempestad sobre ella? No quiero creer que los norteamericanos a quienes nuestra acción no afecta en sus intereses vayan a remolque de Inglaterra para combatirnos si nos enfrentásemos con ésta en el terreno de las armas.

La fuerza económica del Nipón es superior a cuanto el gobierno chino y los blancos puedan imaginar.

El "leit motiv" de las anteriores declaraciones está sintetizado en esta frase: "El yugo de los blancos sobre las razas amarillas debe desaparecer".

Las razas amarillas entienden reasumir el ejercicio de su soberanía y de su libertad. Exactamente lo mismo que proclamamos en Occidente y por cuya libertad tantas batallas se han librado. Los amarillos, hombres y humanos como nosotros, no quieren resignarse a ser esclavos o bestias de ningún imperialismo blanco, único que han conocido; quieren participar de los beneficios de la civilización humana; quieren dialogar y tratar con los pueblos de Occidente en pie de igualdad y de dignidad.

Han soportado por más de un siglo la tiranía, el desprecio y la humillación. Por el hierro, la miseria, el opio y la ignorancia se les ha tenido sujetos sin proporcionarles beneficio material ni consuelo moral y espiritual. ¿De quién es la culpa?

Este programa del Nipón, que los intereses ingleses tachan de imperialista y autoritario, es el programa mínimo de nuestras masas occidentales, el único cristiano y humano que exige realización

Incluya un crucero alrededor del mundo en sus próximas vacaciones

Quando vaya usted a Europa, hágalo pasando por el Oriente

PASAJES MUY VENTAJOSOS

Para informes dirigirse a:

Osaka Shosen Kaisha

Diagonal Roque Sáenz Peña 618. - 2.º piso

H. KATO

Única Fábrica Japonesa de Tejidos de Sedas y Gran Instalación de Tintorería

HERREDA 2097 y 2111 U. T. 21-1841

PAGINA DE ACTUALIDADES

EN DIRECCION A SUCHOW AVANZAN LOS JAPONESSES

SHANGHAI, abril 6 (United). — El corresponsal de la agencia Domei informa desde Peiping que las tropas japonesas llegaron esta mañana a 30 kilómetros al norte de Suchow a pesar de la encarnizada resistencia presentada por los chinos.

Las fuerzas niponas atacan las unidades chinas aisladas en los alrededores de Faierhswang, al nord este de cuya ciudad comenzó anoche una nueva batalla.

SIGUEN EN MEXICO LAS NEGOCIACIONES SOBRE EL PETROLEO

MEXICO, abril 6 (United). — Los señores Francis W. Rickett y Bernard E. Smith reanudaron las conversaciones con el señor Suárez Espinosa Mireles. En los círculos oficiales se expresa que la producción de petróleo mexicano será fácilmente vendida en el extranjero, señalando que se recibieron ya unas 50 ofertas, incluso de origen británico y japonés.

LOS NIPONES MARCHAN HACIA SUCHOW

PEIPING, 6. — Después de la heroica batalla de Taierchwang el ejército japonés se trasladó inmediatamente al Norte de la fortaleza de Suchow para romper definitivamente la última línea de la defensa del ejército comunista de esta región.

FUERZAS COMUNISTAS CHINAS DE HANWEI

PENG-PU, 6. — Las fuerzas comunistas de China, se encuentran formando un ejército de 400.000 soldados ocupando posiciones estratégicas en la provincia de Hanwei. Estas fuerzas que comprenden desde el 311 y el 131° ejército chino tienen por misión impedir el avance del ejército expedicionario japonés hacia el Norte.

EXITOS DE LAS FUERZAS JAPONESAS

TOKIO, 6. — Indudablemente la caída de Nan King, el foco de la acción comunista en el Extremo Oriente, fué el punto de partida de la desorganización del ejército rojo en China. La mayor parte de la región austral fué pacificada, al finalizar el mes de marzo p.pdo., por el intrépido ejército que se encuentra allí en misión especial de libertar a

inmediata. El comercio no se extinguirá ni el intercambio cultural sufrirá mengua, como no se extinguió cuando el Nipón sacudió la tutela extranjera. Por el contrario, ambos aumentarán para todos y serán más fructíferos y duraderos porque desaparecerán los rencores que la dominación inglesa ha sembrado en el corazón de los pueblos.

No nos dejemos llevar de un falso orgullo de blanco. Cuando en Oriente se habla de "blancos" el asiático quiere referirse a la Gran Bretaña que es el único blanco que ha dominado, brutaliza razas y pueblos y acaparado el comercio de aquellas tierras. Es Inglaterra quien promueve las guerras y las perpetúa para sostener su hegemonía en decadencia. Hoy Inglaterra ayuda clandestinamente al general Chiang-Kai-Shek, a través de Hong-Kong, Cantón, a fin de perpetuar el conflicto y agotar la resistencia nipona. Le interesan mucho más los negocios de sus tenderos en China que los principios morales en España. Y si el azar — pura hipótesis — le permitiera anular la potencia nipona, remacharía con mayor fuerza las cadenas de la esclavitud para todos aquellos pueblos porque ya no tendría rival que se lo impidiese. El ejemplo de ayer nos lo demuestra: cuando el Japón no había nacido a la vida moderna, ¿cómo entró Inglaterra en China y cómo lo trató? Este es el punto fundamental de la cuestión. Y todo lo demás, retórica.

ESTEBAN ROLDAN OLIARTE.

esos pueblos hermanos, de la tiranía y del despotismo de la nación extranjera que ha de dar a la historia una página inolvidable por los sufrimientos y por la sangre con que fué escrita. Más de 300.000 fueron los soldados rojos que sucumbieron bajo la espada libertadora.

Las últimas resistencias de la barbarie fueron vencidas sucesivamente en los campos de Ta-Wu y de la escabrosa montaña de Sanchow.

AMISTAD AMERICANA-JAPONESA

NEW YORK, abril 6. — En los círculos comerciales y bancarios de la city se nota una fuerte corriente destinada a buscar una consolidación de la amistad american-japonesa, ya que se pone de relieve que en el Este Asiático ocupando Estados Unidos una posición secundaria en el intercambio comercial y habiendo fracasado toda tentativa de penetración en China, por los poderosos intereses europeos coligados, su acción, sus inversiones de dinero en fortalecer su posición militar en el Pacífico, aparte de ser estéril no serviría sino para defender o amparar, tácita o abiertamente situaciones que, en todo momento, conspiraron contra Estados Unidos en el Lejano Oriente.

FALLECIMIENTO DE LA SEÑORA SEIKO OGAWA DE TSUJI

Falleció en Bánfield el 6 del corriente, la señora Seiko Ogawa de Tsuji, esposa del conocido importador de artículos japoneses, el señor Teijiro Tsuji, de esta capital.

La extinta era muy estimada entre la colectividad nipona por sus virtudes caritativas y sociales y su inesperada desaparición ha sido muy lamentada.

COMERCIO EXTERIOR DEL JAPON

A pesar de la circunstancia anormal por que atraviesa el Imperio, a causa del incidente chino-japonés, el comercio exterior del Japón ha seguido en 1937, su curso normal hacia el progreso, registrando, en efecto, un record en su monto.

El comercio exterior del año, 1937 para el Japón propiamente, dicho alcanzó la suma de 6.958.595.504 yen, compuestos así: Importación, 3.783.177.280; Exportación, 3.175.418.224.

El total del comercio exterior del Imperio, incluso las de sus colonias llegó: Importaciones, 3.954.725.627; Exportaciones, 3.318.820.342; Total intercambio: 7.273.545.969 yen.

El intercambio por continentes fué como sigue:

	(EN MILES DE YENS)	
	Importación	Exportación
Asia	1.295.114	1.645.914
Europa	504.001	355.956
Norte América	1.374.252	659.601
Centro América	18.765	54.885
Sud América	162.610	109.519
Africa	206.305	242.736

LAMPARAS "YAMADA" DE CALIDAD



●

Luz Clara - Terminación Prolíja - Selección Especial

●

USE LAMPARA "YAMADA"

En venta en las mejores casas del ramo

Oceania	222.129	106.463
Total con otros	3.783.177	3.175.418

EXPORTACIONES DEL JAPON. SEGUN GRUPOS DE MERCADERIAS

(Datos del año 1937)

	Yens	
Plantas y animales	4.226.297	
Cereales, harinas, semillas, etc.	45.962.607	
Bebidas, comestibles y tabacos	204.159.342	
Cueros, pieles, huesos, etc., y su manuf.	21.979.240	
Aceites, grasas, ceras y sus productos ..	75.391.733	
Drogas, explosivos, prod. quím. y medicín.	70.148.703	
Pinturas, tintes y artículos afines	20.530.957	
Fibras, hilados, hilos, cordones, etc.	598.345.620	
Textiles y sus manufacturas	1.000.019.119	
Vestidos y accesorios	229.911.530	
Papel, Pulpa y artefactos	23.949.034	
Cerámicas y vidrios	87.543.505	
Hierro y metales	125.422.214	
Artefactos de metal	98.812.750	
Instrumentos científicos, maquinarias, etc.	227.699.134	
Varios artículos	203.675.957	
Total, incluso encomiendas, re-export., etc.	3.175.318.224	

AGRADECIMIENTO DEL GOBIERNO DEL JAPON

El gobierno del Japón, por conducto de los Ministerios de Guerra y de Marina, envió notas de agradecimiento a la Sociedad Exportadora, Importadora Argentina-Oriente de esta ciudad, la que, según anunciamos oportunamente, envió una partida de carne argentina destinada para los soldados y marinos nipones en acción en China.

FORTIFICACION DEL CANAL DE PANAMA

WASHINGTON, 7. — El jefe de la estrategia de la marina norteamericana declaró lo siguiente en la Cámara de Senadores:

1° — No habrá la guerra con tal que la marina norteamericana se mantenga equipotencial con Inglaterra y superior a la marina japonesa.

2° — Es necesario aumentar a 20.000 el tonelaje de los 2 portaaviones a construirse próximamente.

JAPON MANTENDRA SU DOMINIO NAVAL EN EL PACIFICO OCCIDENTAL

TOKIO, 7. — El Almirante Noda, miembro del Almirantazgo Japonés, declaró que el Japón mantendrá la supremacía naval en el Pacífico Occidental, vale decir, en el Extremo Oriente.

EL Dr. LIN FUE ASESINADO

SHANGHAI, 7. — El Rector de la Universidad de Shanghai, doctor Lin fué asesinado por dos asaltantes desconocidos. Uno de éstos fué aprehendido inmediatamente, pero el otro, después de sostener tiroteos con un agente inglés consiguió huir después de haberlo herido. El doctor Lin se recibió en Filosofía en la Universidad de Colombia, Estados Unidos.

EN HONOR DEL MINISTRO DEL JAPON

En honor del ministro del Japón, Sr. Iwataro Uchiyama, ofreció ayer un almuerzo el Dr. Albino Pagnalin. Asistieron:

El vicepresidente de la República, doctor Ramón S. Castillo; el intendente municipal, D. Arturo Goyeneche; el embajador del Uruguay, D. Eugenio Martínez Thedy; el secretario de la legación del Japón, Sr. Sotaro Hosokawa, y los señores Leopoldo Melo, Francisco Mendes Gonçalves, N. Mimoto, Roberto Santucci, Oreste Isola, Alberto Zapiola, Carlos Pita y A. Gómez Rincón.

NOTICIAS OLIMPICAS

INFORMACIONES JAPONESAS

La Declaración del Secretario General del Comité Organizador de los XIImos. Juegos Olímpicos, Tokio 1940

Durante estos últimos días parece que han corrido rumores algunos de los cuales figuraron en los diarios de Tokio, de que el Japón declinará los planes de llevar a cabo las Olimpiadas de 1940 en Tokio. Quiero declarar aquí que estos rumores no tienen fundamento alguno con que atestiguar sus autenticidades; son enteramente opuestos a las circunstancias de las cuestiones actuales.

Sin duda, la situación es difícil ahora en el Extremo Oriente, pero los principios que el Japón ha mantenido no han sufrido cambio alguno. El tratar de obtener un firme establecimiento de la paz en la región ha sido el único deseo y determinación del Japón, y la nación entera confía que la nube que ahora lo obscurece pasará muy pronto.

Bajo estas circunstancias, el Japón no encuentra razón alguna para que rehusar llevar a cabo en Tokio, de aquí a tres años, la venidera reunión atlética.

En el 8 de Septiembre, el Comité Olímpico de la Municipalidad de Tokio, donde se realizarán las Olimpiadas de 1940, pasó la resolución de continuar las preparaciones con el objeto de llevar a cabo los XIImos. Juegos Olímpicos de 1940 en Tokio, como anteriormente se había propuesto. Las organizaciones atléticas concernientes en el Japón no han alterado su firme propósito de llevarlo a cabo. Quede claramente anunciado aquí, que tampoco el Gobierno japonés ha demostrado, ni una vez hasta ahora, acciones que demuestran su inclinación de rehusar las Olimpiadas de 1940.

Tomando en cuenta la seria situación que ahora afronta el Japón, el comité organizador no dejará de esforzarse por todos los medios para que los planes para la realización del próximo acontecimiento internacional estén listos a su debido tiempo.

Nosotros deseamos que se aclaren todas las equivocaciones que hay sobre este asunto, tanto dentro del país como en el extranjero, para que las naciones extranjeras y el Japón mismo, no vayan a engañarse respecto a la cuestión. — 11 de Septiembre de 1937.

Dr. MATSUZO NAGAI,
Secretario Gral. del Comité Organizador
de los XIImos Juegos Olímpicos,
Tokio 1940.

LUGAR DONDE SE EFECTUARAN LOS JUEGOS OLIMPICOS EN TOKIO

Los jardines exteriores del Templo de Meiji, han sido fijados como lugar de la próxima Olimpiada de Tokio.

Sastrería Japonesa

Fundada en el año 1916

de S. Katayama

PIEDRAS 572

U. T. 33-5452

¡Beba buen café!

EL CAFE DE SANTOS "AGUILA" está elaborado con los mejores cafés que se importan del Brasil, tostados y con un 10 olo de azúcar brillantado. ¡Nada más!

Muchos cafés que por ahí se expenden, ¿podrían afirmar otro tanto?

Deduzca Vd. y prefiera el

CAFE DE SANTOS "AGUILA"

ES UN PRODUCTO SAINT.

La Municipalidad de Tokio, junto con el Departamento de Asuntos del Exterior, se proponen tomar medidas para promover considerablemente la comunicación cerca de los Jardines Exteriores, para facilitar las idas y vueltas de la multitud que asistirá a las Olimpiadas. Los planes de la municipalidad incluyen nuevos caminos para vehículos y peones. Este proyecto ha sido demorado hasta que se formularon planes decisivos sobre el sitio donde se ubicarían los estadios, mas ahora se ha decidido apresurar a construir los caminos para así eliminar las más ligeras congestiones en las tribunas.

He aquí que las primeras dificultades han sido removidas, y la Sociedad Organizadora puede ahora fácilmente seguir sus planes para garantizar que nada faltará para llevar a cabo los Juegos convenientemente y facilitar todos los medios para aquellos que quieran asistir a la Olimpiada de 1940.

EL Sr. NAGAI, FUE NOMBRADO SECRETARIO GENERAL.

El 1.º de Julio, el Barón Keiichi Kubota, Secretario General de la comisión organizadora de la XIIma Olimpiada, presentó su renuncia al Príncipe Tokugawa, Presidente del Comité. El Barón Kubota había sido nombrado en la reunión de la Comisión Organizadora llevada a cabo el 9 de Mayo del corriente. El Comité trató de retenerlo, pero el Barón sintió que su salud no le permitiría continuar en su cargo, así a pesar de sentir honradamente su renuncia, el Comité lo aceptó en la reunión del 8 de Julio.

En la 12.ª sección del Cté. organizador del 12 de Agosto, el Príncipe Tokugawa recomendó el nombramiento del Sr. Nagai como sucesor al Barón Kubota. La recomendación fue unánimemente aprobada. El Sr. Nagai es ex-embajador en Berlín, y su nombramiento ha sido recibido con entusiasmo y satisfacción.

PROGRAMA DE LA XIIma OLIMPIADA TOKIO 1940.

Deportes: Atlético, Boxeo, Ciclismo, Equitación, Esgrima, Gimnasia, Pentathlon moderno, Remo, Arco, Weigtlifting, Natación Wrestling, Yachting, Competiciones de Arte.

Juegos del grupo selectivo: Association football, Water polo, Hockey, Pelota al Cesto.

Demostraciones: Deporte Nacional: Deporte original japonés: Budo; un juego importado: Baseball.

Decisión: Se incluirán Handball y Canoas si 5 naciones presentan sus deseos de participar, a la oficina de I. O. C. dentro de seis meses.

DESIGNACION OFICIAL PARA LOS JUEGOS INVERNALES EN SAPPORO.

La Comisión Organizadora se reunió en su oficina del Edificio de Mantetsu el 24 de Agosto, y

deliberará sobre los reglamentos relativos al comité que tiene a cargo los Juegos Invernales en Sapporo.

Después de la reunión, el Comité Organizador anunció lo siguiente:

1 — Los "5tos Juegos Olímpicos Invernales de Sapporo, 1940" será la designación oficial para la competición internacional que se llevará a cabo en Sapporo, en 1940.

2 — El Comité encargado de los juegos se llamará "Comité de los Juegos Olímpicos Invernales".

LOS Sres. KLINGEBERG Y ZENTZYTZKI VENDRAN AL JAPON COMO CONSEJEROS TECNICOS

Por recomendación de la Comisión Olímpica Internacional el Sr. W. Klingeberg, que tuvo a cargo los deportes Olímpicos en Berlín, vendrá al Japón como consejero técnico para Comisión Organizadora de Tokio. Se espera que vendrá pasando los Estados Unidos y llegará a Yokohama el 15 de Octubre. En su camino el Sr. Klingeberg conferenciará con los oficiales de la Federación de Deportes Internacionales de varios países sobre los problemas que convienen a las reglaciones para las competiciones en Tokio, los planes para los Juegos, etc.

El Sr. M. Zentzytzki, famoso proyectador de las carreras para bob-sleigh, partirá de Alemania acompañado de su esposa, y por vía Canadá llegará el 19 de Septiembre a Tokio, donde tomará cargo como consejero técnico para los Juegos Invernales de Sapporo. Las carreras de bob-sleigh en Lake Placid y en Garmish-Patenkirchen así como las de Cortine d'Impezzo, Italia, que son las mejores del mundo, han sido diseñadas por el Sr. Zentzytzki. En cuanto se refiere a topografía, temperatura, hielo, nieve y demás condiciones naturales, Sapporo llegará a ser uno de los mejores sitios del mundo para los juegos invernales.

La Sonrisa Japonesa

La proverbial sonrisa de los japoneses es un tema que ha interesado siempre a todos los extranjeros.

No ha habido escritor que no haya tocado este asunto y Lafcadio Hearn, con su genial pluma y alma de filósofo, ha dejado una descripción sobre el particular que fué también publicada en castellano. En efecto, los nipones sonríen siempre. Os saludan, os hablan con su perenne sonrisa en los labios. Y es tan espontánea como natural que no necesitan hacer ningún esfuerzo para ello y menos puede nacer de las intenciones mezquinas como ciertos mal pensados han querido inferirla. Los si-

KOKUSAI BUNKA SHINKOKAI

Sociedad de Fomento de Cultura Internacional

TOKIO — JAPON

Agente en Buenos Aires: G. Yoshio Shinya

Facilita gratuitamente toda clase de informaciones culturales relacionadas con el Japón. Atiende personalmente todos los días hábiles, menos sábados de 16 a 18 horas en la secretaría del Instituto Cultural Argentino-Japonés.

Museo Social Argentino, Viamonte 1435.

glos y siglos de enseñanza ética sobre la virtud de la abnegación y del control de sí mismo, ha dado el fruto así generalizado, que es un rasgo nacional. La sonrisa japonesa no tiene otro fin que el de agradar al prójimo; no causar desagrado ni dolor a los extraños por meras penas o males personales. Es la "noblesse oblige" aplicada en la vida diaria. Es una virtud aristocrática, conocida en algunas cortes de Europa en otros tiempos, que en el Japón rige para todo el pueblo.

LA CORTESIA

La cortesía de los nipones, es otra de las buenas cualidades admiradas que enaltecen la nación japonesa. Emanada del mismo principio que regula el precepto ético de la sonrisa, fortalecido por la noción de buena disciplina y el orden social, basada en el respeto jerárquico que es la clave de la moral confuciana, ligada íntimamente con el severísimo criterio sobre la modestia personal. Son principios elementales teóricamente hablando, de la caballería y de la urbanidad que no constituyen ninguna novedad para nadie. Podría decirse, simplemente, que el pueblo japonés ha llevado esas reglas al terreno de la práctica mejor que otros pueblos, atrayendo así la atención de los observadores, quienes lo comprenden, valoran y admiran "C'est la politesse qui vien du coeur", como dicen los franceses.

LA DISCIPLINA

La disciplina del pueblo japonés es el producto

de su historia y de sus tradiciones. El sistema de gobierno y el régimen social han sido, desde los principios, con todos sus méritos y defectos, sostenidos sobre la invariable base del orden y disciplina. Luego de los siete largos siglos de régimen feudal, sistema de gobierno que existía en Europa en la edad media, perfeccionado en el Japón al grado no conocido en la historia administrativa de ninguna nación, dentro del sistema mencionado, durate los cuales pudo el pueblo llegar a adquirir la noción clara de sus obligaciones y sus derechos—primero los deberes y después los derechos—criterio fundamental que es, justamente, lo que mantiene la disciplina.

Todo el pueblo, como una sola familia, o bien como un cuerpo, de ejército leal, siempre unido, ha sabido desarrollar sus actividades mentales y físicas, respetando las instituciones y sosteniendo el orden, sin los cuales el bienestar general es imposible. La educación fué la madre de esas condiciones, que cualquier pueblo puede adquirir con buena voluntad y abnegación en pro del bienestar general, y aún mejorar. Si la instrucción universal es cosa nueva en el Japón, la educación es tan antigua como su propia historia. He ahí el secreto, si tal se puede llamar.

LA PERSEVERANCIA

La perseverancia y la aplicación son efectos de la voluntad individual, por un lado, y las consecuencias de las necesidades de la vida, por otro. Las condiciones del suelo montañoso y volcánico la bravura de los mares, las frecuentes tormentas

que los azotan y las inundaciones que arrasan, han influido grandemente para templar el carácter luchador y la valentía del espíritu de la nación japonesa. El japonés no se desanima por nada y es además ambicioso. Quiere progresar siempre y aspira a vivir cada vez mejor, pese a la noción mal infundida del fatalismo, a que pretenden atribuir el suicidio japonés, del cual no tienen comprensión exacta los extranjeros.

EL OCCIDENTE NO SE HA ABIERTO AL JAPON

El conocido orientalista norteamericano, Mr. J. W. T. Mason, dice a este respecto:

Con frecuencia se ha dicho que el Japón sabe cómo tomar pero no cómo dar. Debería más bien decirse que el Occidente sabe cómo dar pero no cómo tomar. El Japón no ha permitido que su sensibilidad estética y espiritual sea suprimida por su interés en el progreso material. La belleza se manifiesta en todas partes espontáneamente en el Japón.

El Japón estaba listo para recibir el progreso occidental cuando se abrió al Occidente; pero el Occidente no se ha abierto todavía al Japón. Existen en el Japón influencias en coordinación estéril co-espiritual-utilitaria que se muestra para el estudio de todos. El Japón está pronto para dar, cuando el Occidente haya desarrollado suficiente comprensión para darse cuenta de toda la importancia que, para el progreso equilibrado de la civilización, tienen los dones que el Japón ofrece al Occidente, esperando su aceptación.

<p>"NAMBEI" Compañía de Importación y Exportación Sociedad Anónima Telegramas "NAMBEI" U. T. (33) 3001, 3002, 3003, 3004, 3008 y 3571 T. T. Buenos Aires, 904 SARMIENTO 470 BUENOS AIRES</p>	<p>T. NISHIZAWA Representante de Mitsubishi Shoji Kaisha, Ltda. FLORIDA 229 U. T. 33-5469-2981</p>	<p>F. KANEMATSU y Cia. Ltda. Importaciones y Exportaciones JUJUY 136 - U. T. 45, Loria 5823 y 5824</p>	<p>S. TSUJI Importador BALCARCE 682 - U. T. 38 Avda. 5744</p>
<p>H. KATO Unica Fábrica Japonesa de Tejidos de Sedas y Gran Instalación de Tintorería HERRERA 2097 y 2111 - U. T. 21-1841</p>	<p>S. YAMADA y Cia. Importadores MORENO 2039 U. T. Cuyo, 47-4354 y 4405</p>	<p>PIDA SIEMPRE Marca KANEBO PARA TEJIDOS RIVADAVIA 1210 (4o. piso) U. T. 38 - 3239</p>	<p>LA MAISON SATUMA K. YOKOHAMA Objetos de Arte y Antigüedades ESMERALDA 1080 - U. T. 31-8601 Sucursal: SUIPACHA 865 - U. T. 31-4837</p>
<p>SADAO HATTORI IMPORTADOR Especialidad en artículos de Cepillería LINIERS 649 - U. T. 45, Loria 3218</p>	<p>IIDA y Cia. Ltda. (Takashimaya) Importadores y Exportadores RODRIGUEZ PEÑA 162 U. T. Mayo 38-3419</p>	<p>M. OMURA Importador de artículos generales del Japón SAN MARTIN 235 - U. T. 33-2683</p>	<p>G. KATO (C. YUASA) Representante de KATO BUSAN KAISHIA Ltd. Av. Roque Sáenz Peña 826 U. T. 35-5696</p>
<p>KATSUDA y Cia. Importadores MEXICO 1474 - U. T. 38, Mayo 2313</p>	<p>N. HARA y Cia. Importadores BELGRANO 1470 U. T. Mayo 38-2438 y 9437</p>	<p>S. ANDO y Cia. Importadores DEFENSA 532-40 U. T. 33 (Av.) 2296</p>	<p>Sastrería JAPONESA Fundada en el año 1916 de S. KATAYAMA PIEDRAS 572 - U. T. 33-5452</p>
<p>B. TAKINAMI Importador Casa Establecida en el año 1905 VICTORIA 733 - U. T. Mayo 38-3413</p>	<p>CARLOS C. ISHIY Importador y Exportador Bm6. MITRE 341 - U. T. 33 Avda. 9782</p>	<p>JIRO HONDA y Hno. Importadores de Artículos Generales del Japón MORENO 1320 - U. T. 38 Mayo 2718</p>	<p>GUIA JAPONESA LEGACION DEL JAPON: Reconquista 336. - U. T. 31-3193. CONSULADO DEL JAPON: Reconquista 336. U. T. 31-0978</p>
<p>I. HIROTA Importador de artículos generales del Japón CHILE 1029 - U. T. 37 (Riv.) 0251</p>	<p>S. YOKOBORI Representante de FUJISAKI y Cia. CANGALLO 499 3er. Piso Escr. No 21-22 - U. T. 33-9390</p>	<p>Casa "YAMANAKA" Oriental Fine Art Curious VIAMONTE 624 - U. T. 31 7846</p>	<p>CAMARA DE COMERCIO JAPONESA: Avenida Roque Sáenz Peña 618. - U. T. 33-1452. INSTITUTO CULTURAL ARGENTINO-JAPONES: Viamonte 1435.</p>
<p>N. IKEDA The National City Bank of New York BARTOLOME MITRE 502 U. T. Avenida 33 - 4031</p>	<p>TARO MURAI Unica Casa Introdutora de Porcelana "NORITAKE" MAIPU 463 - U. T. Retiro 31-3189</p>	<p>K. YASUNAGA Compañía Argentina, Comercial e Industrial de Pesquería DEFENSA 1597 - U. T. 33-7769</p>	<p>ASOCIACION JAPONESA: Patagones 840. - U. T. 23-4893. COMPARIA DE VAPORES O. S. K.: ROQUE S. PEÑA 616 - 2o Piso U. T. 33-1051 - 1052 - 1053 y 3565</p>